



生徒指導だより

夏季休暇前号

令和5年7月12日号
岐阜北高等学校生徒指導部

1. とても残念な台詞、とても残念な行動

みなさん、いかがお考えでしょう？ 注意をすると、「えっ、ダメなんですか？」という台詞。モノ申す点がなければ、私は注意しません。物議を醸した6月8日(木)の球技大会。大会冊子には、「服装は、通常の体育授業に準ずる」と明記されていました。「装飾品(ネックレス・指輪等)を身につけたり、体操服への装飾、髪飾り、化粧などをしない」とありましたが、実際はどうでしたか？

球技大会の目的は、「体育で学んだ技能を十分に発揮し、**クラスの団結と親睦をはかる**」であり(これも大会冊子に明記)、そもそも学校行事とは、いわゆる“映える”ことが目的ではありません。



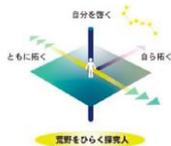
2. 粹に感じて欲しい、誇りとしてほしい北高スタイル

「生徒が自分で決められる北高」をキャッチフレーズに、7月から服装選択制が始まりました。教育で大切なことの一つは、自分で考える、理由を考えることだと私は思っています。生徒自身がTPOを自ら考え、判断して、品性を保って着こなすことが重要であり、“おしゃれ私服”を推奨している期間ではありません。「なぜこういう制服があるのか？」と言う先輩たちの声がきっかけで議論が起こり、一年以上の期間をかけて「じゃあ、こうすればいいのでは」とルールが変わっていきました。当時はこのような事例が少なく、北高は先駆的存在でした。ここが北高生として粹に感じ、誇るべきところです。

今もこの流れを脈々と受け継いで、北高をもっと良い学校にしていこうと試行錯誤してくれている生徒たちがたくさんいます。生活委員、生徒会を通じて立案し生徒議会 **各クラスの生活委員に声をかけてください！生活委員会等で話し合います！**で議論すれば校則を変えることができる。つまり、あなたたちには校則を変える権利があるのです。



3. どうする北高祭



そのような潮流の中で、境界線上の内側ギリギリのところに立って、「ルールは守っているから問題ない」と平気な顔をして屁理屈を言うって…何かさみしいというか、残念の極みです。

一年前の生徒指導だよりで、「来年の北高祭は、**より生徒主体のものになってほしい**」と記しました。私の想いは、生徒をこれはダメ、あれはダメと「管理・統制」するのではなく、**生徒が考えて、生徒が生徒に働きかけ、生徒自身が自らの判断で様々なことを決定し、生徒が生徒の手で自治**

する。それが、上のロゴマーク「スクール・ポリシー」のイメージ図だと信じています。中央にいるみなさんは、どの方向に進むか自分で考えて、自分の意思で決めて、進む。北高祭を「荒野をひらく探究人」に成長するための礎を育む最高・最良の場にしてほしい。夏季休暇中から準備をしましょう。

昨年度の北高祭初日、「実に不本意ですが」と前置きをして、“想像力の欠如”という話をしました。なぜこの言葉を用いたか？ その理由は、少し立ち止まって想像すれば(考えれば)、その善悪を君たちなら判断できたはずだからです。

北高祭はお祭りではありません。したがって、自分たちがやりたいことをやりたいようにやってもよい、何をやっても自由ということではありませんよね。北高祭だけでなく、ホームルーム活動、生徒会活動やその他学校行事は、学校の教育活動の1つです。これらを通じて、各教科・科目等の学習だけでは育めない資質・能力の伸長を図る、とても大切な活動です。

①服装と頭髪

【校内外の生活、身だしなみに関する生徒と教職員の申し合わせ事項】には、「服装や頭髪等の身だしなみは、個人の品性や心情、生活態度をあらわすものであり、また、学校生活の雰囲気を作り上げる重要な要素でもある。岐阜北高校は、教育目標にあるとおり「倫理観や規範意識に基づく社会性を育む」場であるため、その場に適切であるかどうか、一般的規範も含めて生徒自らが考え、制服とともに品性を保って着こなして欲しい。」と記されています。この内容

が実に曖昧であることは否めません。でも、こうすることで“考えて判断する余地”を残しているのです。規則や秩序が曖昧だから自分勝手な考えで、好き放題やってもよいということでは決してありませんし、そもそも不必要な加工(染髪・パーマ)は認めていません。これに異議申し立てがあり規則の改正を求めるのなら、正規の手続きを踏みましょう。

②勝手な外出

☞ 自分勝手な都合で、自分勝手な解釈で、勝手な判断で、自分勝手な行動をした生徒が複数いました。もし北高祭中の服装が、制服のみに限定していたら、同様の行為は起こったでしょうか。少なからず、制服を着用していたら、世間も目もあるので無断外出は少なかったと私は思います。

③リーダーとしての存在感

☞ 夏休み前から練習を頑張ってきてくれた応援団、みんなの頑張りが体育祭に花を添えてくれます。リーダー的存在である応援団が、リーダーとして十分機能してほしい。体育委員とともに体育祭実行委員のような存在であるべきです。応援合戦だけでなく、事前の会場設営、集合時の団の統制、競技の招集、競技の運営や競技者へのエール、団席の管理、後片付けなど、率先して活動する応援団の姿を見て、各団が一致団結できるし、それが応援団としてのプライドだと私は思います。

あなたは どう 思いますか？

4. 夏季休暇を前にして

(1) 最優先事項は「かけがえのない尊い命を守る」こと

開放的な気分になりがちな夏季休暇です。事故や事件に巻き込まれぬように自己防衛意識を高めましょう。

① 自己防衛意識・危険回避手段

- ・危険だと思われる場所・時間帯を避ける。万一の場合には身の安全を第一に考え、不審者に遭遇した場合は、大きな声を出して逃げてください。
- ・特に夏は、変質者(痴漢など)による被害が増加します。目に余るような装いや薄着、短いスカートなどは避けましょう。
- ・「四ない運動(免許をとらない。車・バイクを買わない。乗らない。乗せない。)」を守ってください。

② 自転車に乗るとき

- ・自転車の交通事故は、被害者になるだけでなく、加害者になることもありますので、十分気をつけましょう。
- ・交差点では一旦停止し、車や歩行者がいらないか必ず確認しましょう。
- ・車がいる所を通行する場合、運転手が自分に気づいていることを確認するため、運転手とアイコンタクトを取りましょう。
- ・並列通行、二人乗り、スマホ等やイヤホンを使用しながらの運転及び傘差し運転は、危険ですのでしてはいけません。
- ・自分の存在を周りに知らせるため、夜間はライトを点灯しましょう。
- ・万が一、事故に遭遇した場合は、必ずお互いの連絡先を交換し、保護者・警察(110番)や消防・救急(119番)・学校に連絡してください。

(2) 困ったこと、相談したいことがあるとき

① 夏季休業中であっても、お困り事や相談したいことがあれば、Classi やメール等で連絡してください。

※ただし、Classi やメール連絡は確認が遅れる場合があります。急ぎの場合は下記の電話番号にお願いします。

- ・電話番号 058-231-6628 (平日 8時20分~16時50分)
- ・緊急の連絡はコロナ関係で使う携帯 080-8250-0525(教頭)

※なお、8月9日(水)から8月15日(火)は学校閉庁日です。

② 学校に相談しづらいときは、以下の窓口等に相談しましょう。

【LINEによる相談】

◇「中高生 SNS 相談@岐阜(2023)」 相談期間:8月21日から9月3日 17:00~22:00(最終受付 21:30)

【いじめ・不登校・虐待・学習・進路・人権に関すること等についての相談窓口】

◇「24時間子供 SOS ダイアル」 0120-0-78310(夜間・休日・祝日全24時間体制)

◇「教育相談ほほえみダイヤル」 0120-745-070 月~金 9:30~16:15 (祝日は除く)

※携帯電話からつながりません。

【事件・事故等があった場合】

◇地区少年サポートセンター(最寄りの警察署の生活安全課につながります) 0120-783-802 (フリーダイヤル)